

令和元年度 東海・北陸ブロック研修会報告書

研修テーマ	保健師活動の可視化及び質の向上への取組 ～他職種や多様な組織等との連携による地域に責任をもった活動の強化を目指して～
開催日時	令和元年 8 月 24 日（土） 10：30～16：10（受付 10：00～）
会 場	岐阜大学サテライトキャンパス （岐阜市吉野町 6-31 岐阜スカイウイング 37 東棟 4 階）
参加人数	142 人 ※講師・実践報告者・役員・研究報告者を含む
研修概要	<p>1 全国保健師長会活動報告 報告者：全国保健師長会副会長 堀田 彰恵 氏</p> <p>2 平成 30 年度地域保健総合推進事業費研究事業結果報告 「災害時の保健活動の推進～マニュアル改定に向けて～」 報告者：宮城県北部保健福祉事務所栗原地域事務所 築場 玲子 氏</p> <p>3 40 周年記念スライドショー</p> <p>4 講演 「他職種や多様な組織等と連携し地域に責任を持った保健活動を推進するために」 講師：（前）札幌市地域包括ケア推進担当部長 岡島 さおり 氏</p> <p>5 実践報告（座長：岐阜県保健医療課健康推進室長 赤尾 典子氏） （1）「日進市における認知症カフェ（N-cafe）の開設・運営支援の取り組み」 報告者：日進市健康福祉部 地域福祉課保健師（認知症地域支援推進員） 堀之内 美奈子氏 （2）「保健師活動の核と人材育成」 報告者：名張市福祉子ども部理事（健康支援推進担当）兼 子育て世代包括支援センター長 西嶌 知子 氏</p> <p>6 グループワーク 「他職種や多様な組織等と連携し地域に責任を持った活動を推進するためには」 講評：堀田 彰恵 氏、岡島 さおり 氏</p>
参加者の感想など	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が、全国保健師長会活動の内容や意義を理解するとともに、報告者や講師の熱意ある話の内容にパワーをもらい、明日からの活力、糧にしたいという意見や、よく言われる「連携」について、図式化された内容などから本質を理解し、今後どう取り組むべきかを改めて考える機会となり、大変有意義な研修となった。 ・アンケート結果から、全体を通じて「大変参考になった」が 75.0%、「参考になった」が 25.0%と満足度が高く、内容別には講演と実践報告(2)の「大変参考になった」がいずれも 84.4%と最も高い結果となった。 ・アクセスを優先し例年の人数を見込んで会場を確保したが、例年より多くの参加が得られたことで会場が手狭となり、参加者の一部にしか机を配備する事が出来ず、研修環境として課題を残す結果となった。